

日本の基礎研究が世界の研究全体のトップ賞をとる時代

◆過去に例のない画期的な状況◆

➤ **世界で最も注目される研究者！** <論文被引用数総合第1位※>

細野秀雄・東京工業大学教授 (2007-2008) (Thomson Reuters “Hottest” Researchersより)

└ 鉄系高温超伝導

審良静男・大阪大学教授 (2004-2005、2005-2006)

└ 自然免疫

➤ **2008年サイエンス誌10大ニュース総合第1位**

iPS細胞

(Breakthrough of the Year 2008より)

└ 山中伸弥・京都大学教授

➤ **トムソン・ロイターの論文被引用調査**

十倉好紀・東京大学(物質科学)・・・引用最高栄誉賞

井上明久・東北大学(材料)・・・第1位

➤ **ドイツのロベルト・コッホ賞 <Robert-Koch-Preis>**

2008年 山中伸弥・京都大学教授

2006年 河岡義裕・東京大学教授

2004年 審良静男・大阪大学教授

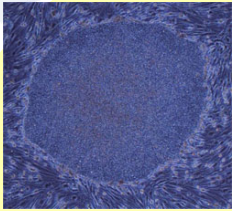
物性・材料科学
 関連の
 世界標準へ

生理医学分野
 の躍進

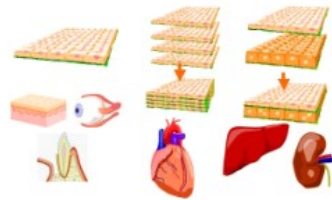
***上記に掲げる研究者は、全て戦略的創造研究推進事業の出身者で若くして未確立の時期に、
 目利きによって選び出された。**

科学技術が築く未来

失われた機能を回復 再生医療



IPS細胞の樹立
山中伸弥(京大)

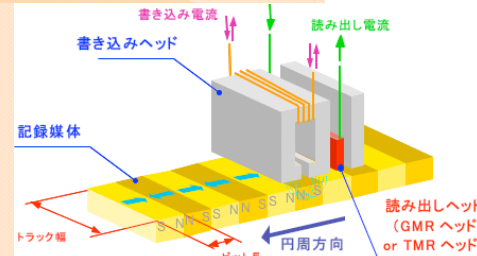


細胞シートの作成
岡野光夫(東京女子医科大)

大量の情報を自在に操る

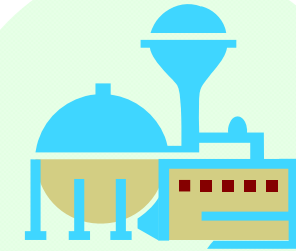


光ホログラム記憶ディスク
井上光輝(豊橋技科大)



トンネル磁気抵抗素子
湯浅新治(産総研)

環境に優しい化学



有機溶媒無しの化学プロセス
小林修(東大)

難病も怖くない



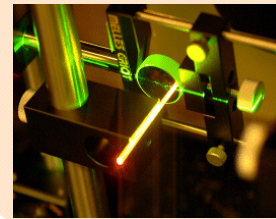
インフルエンザ
ワクチンや
治療薬の
迅速な開発

インフルエンザウイルスの研究
河岡義裕(東大)



アレルギー
やがんの
新たな薬

自然免疫の研究
審良静男(阪大)



大容量通信
で遠隔地診
療が可能に

新規光機能性ポリマー
小池康博(慶大)

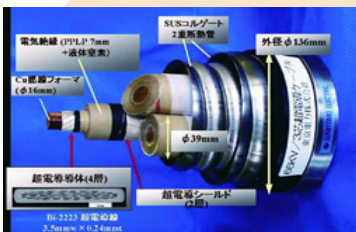
省エネな光で世界を明るく



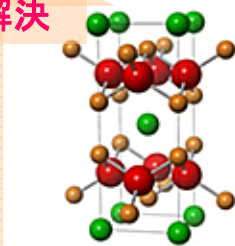
非極性
青紫LED

窒化物半導体LED
中村修二(カリフォルニア大)

超伝導でエネルギー問題を解決



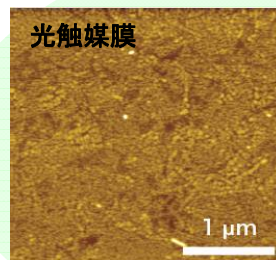
エネルギー損失無しに遠距離送電を
可能にする高温超伝導線材
前田弘(金材研)、北澤宏一(東大)ら



鉄系超伝導物質の結晶構造

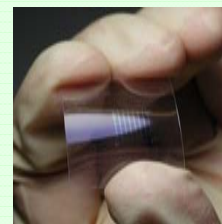
鉄系超伝導の可能性
細野秀雄(東工大)

ナノの技術で材料に新機能を付加

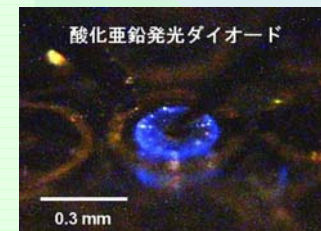


光触媒膜

高機能ナノシートの開発
佐々木高義(物材研)

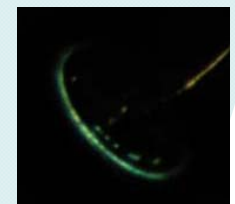


透明半導体の開発
細野秀雄(東工大)



酸化亜鉛発光ダイオード

酸化亜鉛発光素子
半導体
川崎雅司(東北大)



ダイヤモンド発光素子
大串秀世(産総研)